

田んぼの学校活動報告～狩込どじょっこ会～

活動月日	令和元年6月9日
活動内容	田んぼの学校～草取り&サツマイモの苗植え～
報告者	那須野ヶ原土地改良区連合

令和元年6月9日（日）、狩込みどじょっこ会による『田んぼの学校』活動がありました。活動内容は、ひまわりの種まき、サツマイモの苗植え付け、田んぼの草取り作業です。梅雨空の下、約40名の参加で行いました。

最初に、ひまわりの種まき作業を行いました。整備済みの畑に、横一列二人一組になり、種を蒔く人、土を被せる人に分かれ、作業を行いました。以外と地味な作業ですが、種を二粒ずつ30cm間隔に蒔き、後の人が、種の部分に足で土を被せて行きます。中腰での体勢が辛いのですが、指導者の方が腰を曲げずに蒔く方法を教えてくれると、作業がスムーズになりました。夏になると畑一面に咲くひまわりは見応えがあるのだろうと今から楽しみです。

次に、サツマイモの苗の植え付けです。穴の開いたマルチで覆われた土に、棒を使い斜めに穴を開け、その穴に苗を入れて、土を被せる作業です。

子供達は、あっという間に作業を終わらせ、最後の田んぼの草取り作業です。この作業は、コツがいる難しい作業でかなりの労力を必要としますが、子供達はやる気満々で草取り機を田んぼへと運びました。草取り機はご存じでしょうか？現在は除草剤の使用により、草もあまり生えない田んぼでは、見かける事も無くなっていますが、明治の頃に作られた中耕除草機と呼び、柄の先に鉄製の歯が付いている手押し草取り機です。昔は、この草取り機を使い除草していました。稲と稲の間草取り機を入れ、押しは引いてを繰り返しながら除草します。この草取りの作業は、田んぼの土に空気を混ぜ成長の手助けをする役割もあります。

田んぼの片隅で、ズボンの裾を上までまくり上げじっと待つ5歳の男の子。肌寒い中、かすかに震えているので、「体が冷たくなっちゃうから、田んぼから出て待っていたら？」と、声をかけると「大丈夫！寒くないから、ここで待っている。」と、返事。作業している小学生達と交代する順番待ちをしていたのです。小学生ですら、疲れてすぐに投げ出し遊んでしまうのに、ひたすら順番を待っているなんて、将来が楽しみですな人材です。

草取りが終わるころには、小雨も降ってきました。本日の作業を終え、最後は公民館で“こじはん”を食べて活動を終了しました。

次の活動予定は、子供達の大好きな“生きもの調査”です。いつの時代でも、子供は生きものに興味があり、目を輝かせながら活動します。次回が楽しみです！



サツマイモの苗植え

手押し除草機で草取り

